



産廃処理業界は、

大きな体質改

善が求められ

ている。「処

理」と「資源

業者」の垣根

がなくなっ

てきたからだ。

言うまでもなく全

国の協会の名称が順

次「産業資源循環協

会」に変わり、産廃

の資源化が一般化し

てきた。

焼却含めて廃棄物の 価値を高める

問題は、廃棄物の似ているが、まったく異質とも言える。と。大規模な台風や地震などで災害廃棄物の発生が増加。今回の台風19号の災害廃処理には2年以上

似ているが、まったく異質とも言える。と。大規模な台風や地震などで災害廃棄物の発生が増加。今回の台風19号の災害廃処理には2年以上

循環型社会を求めると「焼却」や「埋立」の重要性が浮き上がる。焼却には熱利用やごみ発電も入る。災害廃が代表的だが資源化量が増えるほど残さ

かかるともいわれている。泥まみれになった日用品や家具が一度に大量に発生することなどは今までなかった。建設系の混合廃棄物に性状は

て違いがある。その都度、最適な処理や資源化を求めると、焼却・埋立も含めて廃棄物の価値を高める工夫と理解が必要になる。(次)